

2010年 (平成22年) 2月19日 15:30



高橋

4回転失敗も攻めた

歴史変えた欧米以外の初表彰台



「自然と涙。誇りに思いたい」

演技を終了しガッツポーズする高橋(左から銀メダルのプルシエンコ、金メダルのライサチェク、銅メダルの高橋(A.P))



フィギュア

バンクーバー五輪

男子のフリーが行われ、ショートプログラム(SP)3位の高橋大輔(関大大学院)がフリーで5位の156.98点をマークし、合計247.23点で銅メダルを獲得した。フィギュアの日本男子では五輪初の表彰台となった。高橋は冒頭の4回転ジャンプで転倒したが、持ち味の表現力でカバーした。

SP2位のライサチェク(米国)は4回転に挑戦しなかったが、フリー位で逆転し、合計257.67点で優勝。五輪2連覇を狙ったSP1位のプルシエンコ(ロシア)は4回転ジャンプには成功したが、演技全体に切れを欠き、小差の2位だった。

SP4位の織田信成(関大)は演技中に靴ひもが切れるアクシデントがあり、合計238.54点で7位、SP8位の小塚崇彦(トヨタ自動車)は合計で自己最高の231.19点で8位に入り、そろって入賞を果たした。

高橋大輔の話 フリーの演技に満足はしていないけど、メダルを取れてすごくうれしい。けがで1年を棒に振り、この舞台で滑りきれた。自然と涙が出てきた。男子初のメダルは誇りに思いたい。

気になる結果はケータイでもチェック!
スポーツニュース満載!!

